

大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所 ワークショップ 「プラズマ圏の観測と予測モデルの構築」

エレクトロニクス基礎研究所では、内部磁気圏に存在する低温のプラズマが濃集した領域：プラズマ圏の研究戦略について考えるワークショップを企画いたしました。プラズマ圏のリモートセンシング観測やデータ同化・逆問題解析の専門家を国内から広くお招きして最新の研究成果をご紹介いただくとともに、直近に迫ったジオスペース探査衛星（ERG）の観測とあわせたプラズマ圏観測の科学戦略、キャンペーン観測の設定等についてご議論いただきます。

この分野のみならず、広く宇宙環境変動に興味をお持ちの研究者の方々や学生の諸君に多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

プログラム

12月22日（火）

- 13:00～13:10 はじめに エレクトロニクス基礎研究所 所長 大野宣人
- 13:10～13:40 北海道情報大学 渡部重十「プラズマ圏のモデリング」
- 13:40～14:10 京都大学 新堀淳樹「地上 - 衛星観測に基づく、磁気嵐時の電離圏・プラズマ圏電場変動について」
- 14:10～14:40 宇宙科学研究所 北村成寿 「MMS の観測とプラズマ圏」「電離圏からプラズマ圏へのつながり」
- 14:40～15:10 京都大学 穂積裕太「プラズマ圏下部から共鳴散乱光で見る He イオンの分布」
- 15:30～16:00 京都大学 能勢正仁「内部磁気圏におけるプラズマ再充填」
- 16:00～16:30 大阪電気通信大学 尾花由紀「CRUX 地磁気観測網データを用いたプラズマ圏質量密度の長期観測計画」
- 16:30～17:00 金沢大学 笠原禎也「ERG 波動観測がめざすプラズマ圏のサイエンス」
- 17:00～17:30 総合討論

12月23日（水）

- 10:00～10:30 高知工科大学 柿並義宏「最近の電離圏・熱圏の話題と経験モデル」
- 10:30～11:00 名古屋大学 三好由純「あけぼの衛星観測によるプラズマ圏プラズマの緯度分布」
- 11:00～11:30 統計数理研究所 中野慎也「プラズマ圏データ同化の現状と今後の計画」
- 13:00～13:30 九州大学 河野英昭 「FLR 自動検出の新方法の開発とその MAGDAS, CARISMA, STEP Polar Network データへの適用例」
- 13:30～14:00 東北大学 熊本篤志「UHR 波動観測に基づくプラズマ圏電子密度の変動モニター」
- 14:00～14:30 金沢大学 後藤由貴「QZS-TEC に対するプラズマ圏の影響の調査」
- 15:00～16:00 総合討論

主催：大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所

後援：地球電磁気・地球惑星圏学会

日時：2015年12月22日（火）13:00～23日（水）16:00

場所：大阪電気通信大学 駅前キャンパス1階101室

大阪府寝屋川市早子町12-16 電話072-824-8900

京阪電車 寝屋川市駅より徒歩3分

参加費：無料（事前申し込みが必要です）

問合わせ先：大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所 尾花由紀

電話：072-824-1131（内線3511）、E-mail：obana@oecu.jp

参加申し込み：エレクトロニクス基礎研究所 古賀 弘

電話：072-824-1131（内線2588） fax: 072-820-9010

E-mail：feri@isc.osakac.ac.jp